

## 9月定例会

議員定数に関する公聴会	2
総合計画	3
令和2年度決算認定	4
主な議案・補正予算	8
一般質問	12
所管事務調査	19
海南・海草議会議員連絡協議会発足40周年	20

# 議員定数に関する 公聴会を開催しました

海南市議会では議員定数検討特別委員会を設置し、議員定数について調査・研究をしており、8月1日、本会議場において公聴会（市民の方からご意見をお聞きする会）を開催しました。当日は11人の公述人から「議員定数20人について」増員・削減・現状維持といったそれぞれの立場で意見が述べられ、また31の方が傍聴されました。

## 現状維持



前智博氏



幡川文彦氏



川崎道生氏

- 現状でバランスが取れている。
- 議会には市長の大きな執行権限に対する住民の立場からのチェック機能が期待されている。
- 地域にあるたくさんの課題に目を向けていただきたい。
- 合併により行政区域が広くなったが、一方で人口が減少している。

## 増員



溝口恵敬氏



澤崎泰彦氏



谷本孝一氏



藤田勉氏

- 海南市に民主主義を根付かせるには20人では足りない。
- 議員を減らすことは住民の福祉を切り捨てることになる。
- 議会の役割を市民に周知するためには議員は多くあるべきである。
- 地域の声を多く反映するには議員定数を増やす以外にない。

## 削減



阪本繁子氏



宮井昭治氏



天野貴博氏



青谷まゆみ氏

- 議員定数は市の人口に基づいて見直すべきである。
- 世論を重要視すべきである。
- 議員1人当たりの人口を考えた場合、定数削減が必要となる。
- （辞職や死亡により2人の欠員が生じ）18人となっても十分に機能していた。

# 9月定例会

令和3年海南市議会9月定例会は、9月2日から9月28日までの27日間の会期で開かれました。この議会には、市長から令和2年度歳入歳出決算の認定や補正予算など議案19件が提出されました。また請願が2件、発議が3件提出されました。

## まちづくりを計画的に進めるための総合計画を策定

議案第44号 第3次海南市総合計画の策定

総合計画とは、長期的なまちづくりを総合的・計画的に進めるための指針として定める市の最上位計画で、将来、どのような「まち」にしていくのか、また、そのためにどんなことをしていくのかを体系的にまとめたものです。

第3次海南市総合計画の構成については、今後10年間を見通した「基本構想」と、4年間の取り組みを示す「基本計画」の2つとしており、特に重点的に行政資源を投入し、進める施策・事業を「重点プロジェクト」と位置付けています。計画案については、その内容が市の将来像やまちづくりの方向

性、また、道路整備や福祉、教育、防災など市の取り組み全般にかかわるので、本会議で審議し、活発な議論を行いました。

### — 政策目標 —

1. 快適な暮らしを支える
2. まちの元気をつくりだす
3. 心豊かな人を育む
4. 安心な暮らしを守る
5. まちの安全を確保する
6. 持続可能な行財政運営

### こんな質問がありました

**問** 公共交通の充実をどのように考えているか。

**答** コミュニティバスだけでなく、路線バスの乗客も減少傾向にある中、今ある路線を維持するためには、市民ニーズを踏まえた利用者増加の取り組みが必須である。交通空白地への路線の乗り入れなどの改善を行い、また、交通弱者の方の移動手段を増やすために、デマンドタクシーなどの方法も検討し、移動手段の充実に取り組んでいきたい。

**問** 総合計画審議会委員の女性割合が15%であることについてどのように考えているか。

**答** 第3次海南市男女共同参画基本計画において、市の審議会等への女性委員の割合の目標値を40%とする中で、総合計画審議会における女性委員の割合は15%であり、十分な値であるとは考えていない。総合計画審議会に限らず、団体の代表者に参画いただくことが多い中で、各団体の代表者は男性が多い。今後、女性委員の割合を増やしていくためにも、男女の

固定的な役割分担意識の解消に努めるとともに、今後は、女性の割合が低い審議会などを担当する部署にヒアリングを実施するなど、女性の参画を促すよう、取り組んでいきたいと考えている。

**問** 新型コロナウイルス対策が総合計画にほとんど含まれていないのはなぜか。

**答** 総合計画序論第2章の策定の背景において新型コロナウイルスの影響について触れており、それも含めて課題整理を行っている。その時々々の社会情勢に応じた対応を行う必要があることから、必要な施策においては、議員にその都度、承認をいただき取り組んでいきたい。



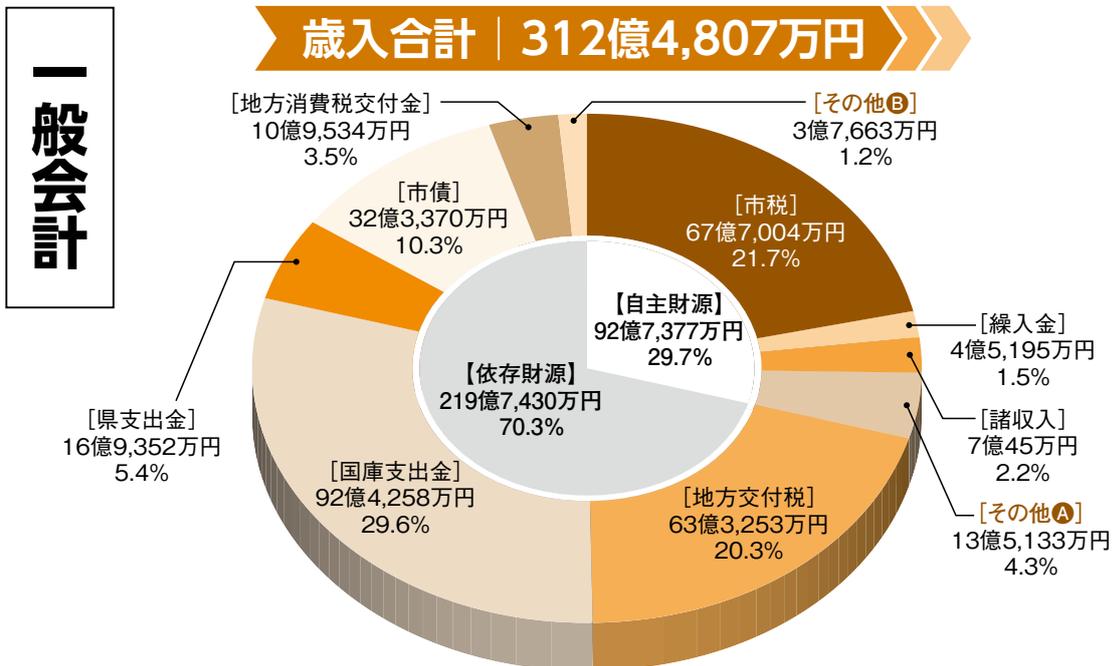
# 令和2年度決算 一般会計は歳入・歳出とも増加

**歳入**  
19.3%増

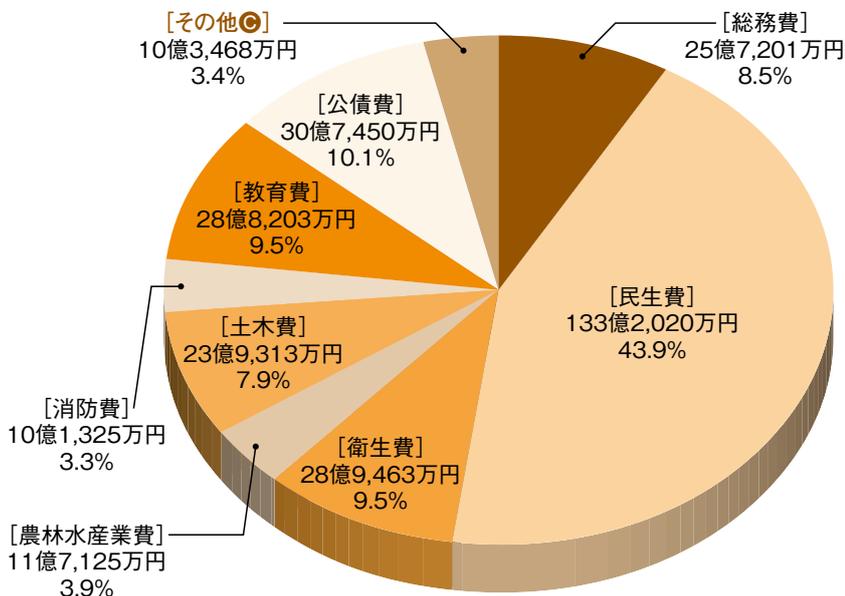
市税や県支出金が減少したものの、新型コロナウイルス感染症対策に係る国庫支出金などの収入が増加したため、歳入総額は前年度より19.3%増加しました。

**歳出**  
19.1%増

教育費では、新たに教育ICT化推進事業などに取り組みましたが、海南nobinosが完成したため建設工事費が皆減となり、前年度より減少しています。また、民生費では、1人あたり10万円を給付する特別定額給付金給付事業により、大幅に増加しています。結果、歳出総額は前年度より19.1%増加しました。



## 歳出合計 | 303億5,568万円



### 【その他の内訳】

#### A歳入【自主財源】

分担金及び負担金	8,398万円
使用料及び手数料	2億8,909万円
財産収入	1億2,508万円
寄附金(ふるさと納税等)	4億3,714万円
繰越金	4億1,604万円

#### B歳入【依存財源】

地方譲与税	1億8,931万円
利子割交付金	844万円
配当割交付金	3,288万円
株式等譲渡所得割交付金	3,722万円
法人事業税交付金	4,370万円
ゴルフ場利用税交付金	255万円
環境性能割交付金	1,273万円
地方特例交付金	4,559万円
交通安全対策特別交付金	421万円

#### C歳出

議会費	2億2,530万円
商工費	7億8,114万円
災害復旧費	2,825万円

## 特別会計の決算額

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険 特別会計	60億2,345万円	59億6,115万円	6,230万円
後期高齢者医療 特別会計	17億1,134万円	17億707万円	427万円
介護保険 特別会計	69億4,844万円	65億1,924万円	4億2,920万円
地域排水処理事業 特別会計	1,673万円	1,580万円	93万円
同和対策住宅資金貸付事業 特別会計	617万円	1億7,147万円	△1億6,530万円
港湾施設事業 特別会計	1,888万円	1,164万円	724万円



### 企業会計の収支について

#### ●収益的収支…

「損益計算書」ともい  
い、一会計年度の経  
営成績を把握するも  
の。一般的に黒字、赤  
字といわれるのは、こ  
の収支による。収入  
には一般会計からの  
繰入金も含まれる。

#### ●資本的収支…

建設改良費や企業債  
償還金などの支出と  
企業債収入や出資金  
等の収入による、経  
営活動外の資本の増  
減に係る収支。

## 企業会計の決算額

会計名	収入	支出	差引
水道事業 会計	収益的収入 11億4,557万円	収益的支出 10億3,886万円	1億671万円
	資本的収入 8億1,982万円	資本的支出 11億6,508万円	△3億4,526万円
病院事業 会計	収益的収入 39億7,497万円	収益的支出 37億5,058万円	2億2,439万円
	資本的収入 2億9,986万円	資本的支出 4億1,850万円	△1億1,864万円

## 市民1人当たりの状況は？

入ったお金 63万5,059円(A)

市税	市民税、固定資産税など	13万8千円
繰入金	基金からの繰入金	9千円
諸収入	プレミアム付商品券売払収入 など	1万4千円
地方交付税	自治体間の収入格差是正の ため国から交付されるお金	12万9千円
国庫支出金	用途を限定し国から交付され るお金	18万8千円
県支出金	用途を限定し県から交付され るお金	3万4千円
市債	財務省・銀行等からの長期借 入金	6万6千円
地方消費税交付金	地方消費税の市へ交付される お金	2万2千円
その他	繰越金、手数料、地方譲与税 など	3万5千円

### 貯金と借金はいくら？

貯金(基金)残高 5万5千円(総額26億5,608万円)  
借金(市債)残高 69万4千円(総額341億5,331万円)

### 一般会計

使ったお金 61万6,923円(B)

総務費	企画や財務、徴税など	5万2千円
民生費	障害者や高齢者の福祉など	27万1千円
衛生費	感染症予防やごみ処理など	5万9千円
農林水産業費	農林水産業の振興費	2万4千円
土木費	道路・河川、市営住宅など	4万9千円
消防費	消火・救急、火災予防など	2万1千円
教育費	学校、生涯学習、文化など	5万9千円
公債費	市債の償還元金や利子など	6万2千円
その他	議会費、商工費、災害復旧費	2万1千円

次年度に使うため繰り越すお金 2,931円(C)

実質収支額 15,205円(A-B-C)  
※令和2年3月末人口49,205人で算出。

## 歳入歳出決算審査における主な質疑

### 水道事業

**問** 老朽管の工事はどのように行っていくのか。

**答** 昭和40年～50年代にかけて布設された老朽管が多くあり、全てを整備するには多額の費用を要することから、基幹管路である導水管等の整備を優先的に進めていく。

**問** 老朽管の工事は進めているとのことだが、有収率※はあまり上がっていない。有収率向上のための計画は。

**答** 海南市全域で見れば有収率はプラスに転じており、一定の効果は出ている。今後も漏水調査を実施し、漏水箇所を特定した上で、老朽管の整備を行っていききたい。

※有収率…つくった水がどれだけ皆さんに届いているかという割合。この値が高いほど無駄なく水道水を供給できていることになる。



### 自衛官募集事務費

**問** 自衛官募集事務の除外申請の考えは。

**答** 自衛隊に自己の個人情報提供を望まない方への配慮として、令和4年度から除外申請できると現在検討している。

### 農業次世代人材投資事業

**問** 本事業交付金の対象者について、農家の子供ではなく新たに就農するといった方はいるのか。

**答** 令和2年度では19人に交付を行っているが、そのうち約8割は親元就農者で残りの方は新規就農者である。

**問** 農業に対する支援はどのようになっているのか。

**答** 農地の保全、所得の向上、相談支援が必要と考えており、有害鳥獣対策に取り組み農地を保全するとともに、下津みかんのようなブランド化の推進や道の駅開駅による新たな販路拡大を実施し、所得の向上に努めている。また、JA、市県のほか、日本政策金融公庫から構成される新規就農者をサポートするチームにより、相談に係る支援を実施している。

## 討論

### 決算審査に係る

#### ○一般会計

**反対**

マイナンバーカード事業、自衛隊への名簿提供に問題がある。また、待機児童の問題については基本的に解消はできているとのことだが、新しくみらい子ども園が開園したにもかかわらず、海南市で待機児童が出たことには納得がいかない。

(橋爪美恵子 議員)

#### ○介護保険特別会計

**反対**

介護保険制度が始まって20年、介護保険への入口が狭められ、必要とする介護が簡単に受けられないになっている。また、安上がりな総合事業により、事業者や働く方にとっても大きな問題と言える。もっと人に優しい介護保険制度に転換すべきである。

(橋爪美恵子 議員)



## 決算審査に係る意見書を提出

決算審査の中で出された意見や要望について、新年度予算に反映することを求めるため、予算決算委員会で下記の意見書を取りまとめました。意見書は9月28日、正副議長、予算決算正副委員長とともに市長に提出しました。

### 令和2年度決算審査に係る意見書

#### 1 津波避難場所等整備事業について

住民等の防災意識を高め、「避難所」と「避難場所」の混同する防災用語についても理解を深めるための取組を求める。また、有田海南道路の整備等、環境の変化も見据えつつ、下津地区の避難所整備について引き続き検討することを求める。

#### 2 地域公共交通協議会事業について

住民の意見や要望を調査し、市民ニーズに合わせた乗り継ぎの改善や市域を越えた延伸についても検討し、住民の利便性の向上となるよう努められたい。

#### 3 みかん・お菓子の振興事業について

お菓子の振興に関する条例が制定されていることから、みかん・お菓子を核としたさらなるPR戦略により、市全体のPRにつながるよう努められたい。

#### 4 病院事業について

医師の確保に努め、市民のさらなる信頼を得られる医療の提供と病院経営を求める。

#### 5 水道事業について

老朽化する水道施設の新設・更新にあたっては、適正な体制をもって計画的かつ効率的に進めるよう努められたい。

#### 6 課外学習支援事業について

参加する児童生徒数の増加に努められたい。また、今後も継続して実施することにより、児童生徒の学力の向上及び安定を図られたい。

#### 7 子育て支援アプリ「すくすく海南」について

アプリの登録者数の増加に努められたい。また、市民にとって有用な情報がさらに提供されるよう求める。

## 下津町区域の振興及び活性化に向けて

議案第45号 海南省過疎地域持続的発展計画の策定

### こんな質問がありました

問：下津町区域が過疎地域に指定されたが、同区域の振興及び活性化に向けた取り組みは。

答：道の駅や下津蔵出しみかんなどの地域資源を生かした魅力的な地域づくりを目指し、国の財政支援措置を最大限活用しながら積極的な事業展開に努める。

## 3年間の固定資産税、課税免除に

議案第46号 海南省過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例

### こんな質問がありました

問：課税免除される対象業種は。

答：「海南省過疎地域持続的発展計画」に定められている製造業、情報サービス業等、農林水産物等販売業、旅館業の4業種。

## 名高34号線、重根99号線が市道認定

議案第59号、議案第60号 市道路線の認定

### こんな質問がありました

※重根99号線は、道路の片側が住宅地、もう片側は田んぼとなっている。

問：重根99号線は、住宅地側（西側）にしか排水路がない。もう片側が住宅地として開発された場合、排水路はどうするのか。

答：西側の排水路だけで排水しきれない場合は、新たに排水路を設置する必要があるかと思うが、排水に支障がなければ、西側排水路を使っている方々の理解を得た上で、そこに排水してもらうことも可能である。

問：はじめから道の真ん中に排水路を設けるような規定を市でつけないのか。

答：そうした規定をつくった場合、開発業者に負担が出る場合もある。市としてどのような影響が出るのかを研究した上、検討していきたい。



建設経済委員会委員が現地調査を行いました

# 討論

○議案第45号

**賛成**

下津町区域が過疎だと指定されたことは残念であるが、有利な過疎債を使い、地域発展を目指すことはありがたいことである。ただ、地域住民が安定的に暮らしていけるよう施策を展開していただきたい。（橋爪美恵子 議員）

# 令和3年度 海南市一般会計補正予算

議案第49号(第6号)

## 黒江公民館整備事業

1,240万円

- 事業内容：現在の黒江公民館を除却し、跡地を駐車場として整備。  
また、現在の黒江防災コミュニティセンター駐車場に用具倉庫を建設

### こんな質問がありました

問：駐車場は、黒江防災コミュニティセンターの利用者専用となるのか。  
また、駐車場の使用料は。

答：主に黒江防災コミュニティセンターやうるわし館の利用者を想定しているが、行事やイベントなどがある場合は、それ以外の方にも利用いただける。  
また、無料で利用いただけるように考えている。

議案第61号(第5号)

## 道路災害復旧事業

710万円

- 事業内容：8月12～19日にかけて断続的に降り続いた大雨により被災した市道等を復旧するため、追加補正を行います。
- 実施箇所：海老谷1号線 外15箇所



下津町大崎地区土砂崩落

議案第62号(第7号)

## 飲食・宿泊・サービス業等給付金給付事業

9,050万円

- 事業内容：新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、市内の事務所・店舗等の事業継続を下支えするため県の「飲食・宿泊・サービス業等支援金」に上乗せして、給付金を給付します。
- 対象事業者：県支援金を受けた、市内に主たる事業所を置く中小企業者または個人事業主（4～9月のいずれかの売上が前年同月または前々年同月比で30%以上減少した事業者）
- 給付額：15万円～60万円  
（市内の対象店舗等で常時使用する従業員数により変動、県制度と同額）
  - 従業員数：0人～5人……………15万円
  - 6人～20人……………30万円
  - 21人～50人……………45万円
  - 51人～……………60万円

※本市の制度は、県支援金制度の対象となった事業者に対し、一回限りの給付です。



発議第6号は、可決し内閣総理大臣などに意見書を提出しました。

## コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い地方財政の急激な悪化が予想される。よって、来年度の地方財政対策・税制改正に向け、地方税などの一般財源総額を確保することや思い切った減収補填措置などを国に強く要望する。(要旨)

発議第7号は、請願第1号の採択により教育厚生委員会から提出され、採択しました。

## (仮称)有田川海南風力発電事業に反対する決議書

再生可能エネルギーの重要性は十分に理解しているところであるが、市民の生命と財産を守り、様々な不安を取り除き、安全で安心な暮らしができる生活環境を整えることを最優先にすべきと考え、長峰山脈の山頂部に位置するゴルフ場内に建設が予定されている(仮称)有田川海南風力発電事業に反対する。(要旨)

請願第2号は、日本政府に意見書の提出を求め提出されましたが不採択となりました。

## 日本政府に「核兵器禁止条約への署名、批准をおこない、核兵器廃絶に向けて主導的役割を求める」意見書を国に提出するための請願書

唯一の戦争被爆国として、日本こそが核兵器の非人道性を訴える立場に立ち、核兵器禁止条約に賛同し、署名・批准するように求める意見書を日本政府に提出することを切に願います。(要旨)

# 討論

### ○請願第1号

#### 賛成

和歌山県環境基本条例では、環境の保全の施策を、県民とともに総合的かつ計画的に推進することが必要であるとしている。海南市議会として請願人である皆さんの声を酌み取り、建設反対決議を行うべきと考える。(瀬藤幸生 議員)

### ○請願第2号

#### 反対

核兵器のない世界の実現に向けては、核兵器保有国と非保有国、いずれの関係性においても顕著な対立構造があるてはならない。現在の日本は米国の核の傘の下で安全保障政策が実施されており、米国の抑止力がなければ我が国の領土と国民の生命や財産を他国からの脅威にさらすことに直結する。(榊原徳昭 議員)

#### 反対

核兵器保有国と非保有国との橋渡し役割を果たすことが重要と考える。条約は評価しているが請願の考え方と優先順位が異なるため反対する。(中家悦生 議員)

#### 賛成

核兵器禁止条約締約国による会議が来年1月にオーストリアのウィーンで開催される予定となっており、日本も参加すべきである。日本政府には、核兵器のない世界への今こそ扉をあける役割をしっかりと果たしてほしい。

(岡 義明 議員)



## 議案の審議結果

◎…全会一致で可決・認定 ○…賛成多数で可決・認定 ※請願○…採択 ×…不採択

議案番号	議案	結果
議案第44号	第3次海南省総合計画の策定	◎
議案第45号	海南省過疎地域持続的発展計画の策定	◎
議案第46号	海南省過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例	◎
議案第47号	海南省押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	◎
議案第48号	海南省公民館条例等の一部を改正する条例	◎
議案第49号	令和3年度海南省一般会計補正予算（第6号）	◎
議案第50号	令和2年度海南省一般会計歳入歳出決算の認定	○
議案第51号	令和2年度海南省国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	◎
議案第52号	令和2年度海南省後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○
議案第53号	令和2年度海南省介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○
議案第54号	令和2年度海南省地域排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定	◎
議案第55号	令和2年度海南省同和対策住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定	◎
議案第56号	令和2年度海南省港湾施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	◎
議案第57号	令和2年度海南省水道事業会計決算の認定	◎
議案第58号	令和2年度海南省病院事業会計決算の認定	◎
議案第59号	市道路線の認定	◎
議案第60号	市道路線の認定	◎
議案第61号	令和3年度海南省一般会計補正予算（第5号）	◎
議案第62号	令和3年度海南省一般会計補正予算（第7号）	◎
発議第5号	海南省議会議務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	◎
発議第6号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（案）	○
発議第7号	（仮称）有田川海南風力発電事業に反対する決議書（案）	◎
請願第1号	（仮称）有田川海南風力発電事業に対する建設反対に関する請願書	○
請願第2号	日本政府に「核兵器禁止条約への署名、批准をおこない、核兵器廃絶に向けて主導的役割を求める」意見書の提出を求める請願書	×

議案第44号 関連記事3ページ 議案第45、46号 関連記事8ページ 議案第47号 利便性を図ることを目的に押印を省略するにあたり、押印を定めた条例を改めるもの 議案第48号 黒江公民館を黒江防災コミュニティセンター内に設けるとともに、各公民館及びその併設施設間における使用料を統一するもの 議案第49号 関連記事9ページ 議案第50～58号 関連記事4～7ページ 議案第59、60号 関連記事8ページ 議案第61、62号 関連記事9ページ 発議第5号 行政手続における押印の見直しに伴い、所要の規定の整備を行うもの 発議第6、7号・請願第1、2号 関連記事10ページ

### 賛否の分かれた議案の表決結果

議案番号	会派・議員名		公明党		日本共産党 海南省議会議員団			市政クラブ			市民クラブ				自由クラブ		無所属の会		結果		
	中家悦生	森下貴史	岡義明	橋爪美恵子	瀬藤幸生	和歌真喜子	栗本量生	磯崎誠治	宮本憲治	宮本勝利	川崎一樹	榊原徳昭	米原耕司	池原弘貴	杉本博美	川口政夫	東方貴子	黒原章至		上村五美	川端進
議案第50・52・53号、発議第6号	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第2号	×	×	○	○	○	○	×	×	×	退席	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

【○…賛成 ×…反対】

※議長は賛否に加わることができません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」が認められています。

# 一般質問

一般質問とは、議員が市民の代表として、市の行政全般に対し、現在の状況や将来の方針等を質問したり、提言することで、政策の見直しなども行われます。

9月定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。



- 1 池原 弘貴** (13ページ)  
 ・市の社会体育施設全般について  
 ◎消防団全般について
- 2 森下 貴史** (13ページ)  
 ◎下津地域の公共交通について  
 ・防災・減災対策について
- 3 杉本 博美** (14ページ)  
 ◎ヤングケアラーについて  
 ・デジタルトランスフォーメーション (DX) の市の取組について
- 4 上村 五美** (14ページ)  
 ・災害時の高齢者や障害者の方々の避難方法について  
 ・矢羽根型道路標示について  
 ◎合併処理浄化槽の推進について  
 ・無料胃がん検診でのバリウム検査と内視鏡検査について
- 5 東方 貴子** (15ページ)  
 ・社会保障制度に係る給付費について  
 ・SDGs の取組について  
 ◎コロナ禍での学校生活について
- 6 和歌 真喜子** (15ページ)  
 ・大雨災害について  
 ◎公共交通の充実について
- 7 米原 耕司** (16ページ)  
 ◎行政と地縁団体である自治会(区)との関係について
- 8 中家 悦生** (16ページ)  
 ・地区集会所の維持管理における現状と課題について  
 ・野上中教育集会所の跡地活用について  
 ◎国民健康保険の傷病手当金について
- 9 橋爪 美恵子** (17ページ)  
 ◎新型コロナウイルス感染症の現状と今後について
- 10 瀬藤 幸生** (17ページ)  
 ・介護保険利用料の負担増について  
 ◎ジェンダー平等について
- 11 岡 義明** (18ページ)  
 ◎国民健康保険の傷病手当について  
 ・中小零細事業者に危機的状況を招くインボイス(適格請求等保存方式)導入について

※ ◎の質問の概要を掲載しています。

聞こえが聞きたい!! 11人が市政を問う

## 消防団員減少にどう備えるか

### ●入団しやすい環境を整備



池原 弘貴 議員

**問** 機能別消防団員の導入の考えは。

**答** 機能別消防団員とは事情に応じた活動に参加する団員であるが、現在定数の95%在籍しているので今後、団員の動向を見ながら導入を検討したい。

**問** 団員確保が困難になりつつあるが、入団年齢の緩和やホームページ・SNS・市報での団員募集・活動報告など何か対策をしているのか。

**答** 条例では入団年齢は45才までとなっているが、事実上45才以上の方も入団可能となっている。団員募集と消防団活動について、今後、市報やホームページで機会があることにPRしていきたいと考える。

**問** 分団内の異業種とのつながりは、若手が入団した場合のメ

リットになると思うが、他分団との交流があまりない。スキルアップと団結力を高めるため、情報交換会や合同勉強会等の開催ができないか。

**答** 他分団との交流を図るため、例えば青年部などの部会をつくり、情報交換や勉強会を開催する場合、会議室の使用や案内通知を送付するなどの協力は可能である。



森下 貴史 議員

**問** 加茂郷駅のタクシー営業所の廃止により、現状はどうなっているか。

**答** 駅前前のタクシー乗場は残されており、タクシーが客待ちをしているのは確認している。

**問** 営業所存続に向けた市の対応は。

**答** 予約電話は転送され、可能な限りこれまでどおり利用できるように考えているとのことから、特に働き掛けは行わなかった。

**問** タクシーを利用する方の声を把握しているのか。

## タクシー利用方法等の周知を

### ●タクシー会社に働き掛けたい

**問** 予約がしづらい、和歌山市内の事務所

**答** 予約がしづらい、和歌山市内の事務所です。予約を受けたい場所がすぐに分かってもらえなかったなどの声を聞いている。

**問** 不満の声が聞こえるなか、予約方法等の周知に努めてはどうか。

**答** これまでどおり安心して利用できるような広報をタクシー会社に働き掛けていきたい。

**問** コミュニティバスの増便や接続も検討いただきたいが、利便性において、他の交

**答** 通形態の導入などは考えているか。

**答** コミュニティバスの利用状況を踏まえた上で、予約制のデマンド方式によるバスやタクシーの導入の可否について、検討を進めたい。





杉本 博美 議員

## 「ヤングケアラー」に関する啓発を

●関係機関と啓発に努める

**問** この4月に国が公表した「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」で、病気や障害を抱える親や兄弟の世話をしている子供が、中学生で17人に1人、さらに祖父母や幼

い兄弟の介護や家事まで担っていることも分り、本来、大人が負うはずの重い責任を子供が負ってしまっている実態が明らかになった。本市における実態把握の現状は。

**答** 本市独自の調査は行っていないが、要保護児童対策地域協議会を介して取り扱う

案件において、ヤングケアラーと思われる子供の存在が5件確認されている。

**問** 「ヤングケアラー」という新しい言葉によって、これまで見えてこなかった存在や問題に対して多くの関心

が向けられる機会ができた。子供の人権と未来のため、支援の緊急性を認識し、この機会を逃すことなく、要保護児童対策地域協議会にも啓発活動への協力を強く要請していただきたい。

**答** 要保護児童対策地域協議会は、児童

福祉、保健医療、教育、司法等多方面にわたる関係機関により構成されている。市ホームページの掲載や広報チラシの配布といった地域への啓発活動をさらに補完する形で、それぞれの領域においても、啓発対応の強化に努めていきたいと考えている。



## 合併処理浄化槽への更なる助成は

●全国的な課題だと認識している



上村 五美 議員

**問** 浄化槽とは、水洗トイレの汚水や生活排水を、きれいな水に浄化して河川に放流するシステムである。

近年の核家族化によって世帯人数も減り、汚水の処理量も少なくなってきた中で浄化槽の維持管理費が安くないのはなぜか。

**答** 浄化槽の維持管理費は、汚水の処理量ではなく、浄化槽の人槽（大きさ）によるため安くならない。

**問** くみ取り便槽や単独処理浄化槽から生活排水も浄化できる合併処理浄化槽への転換を進める助成制度は、浄化槽設置補助金に撤去補助金や配管補助の上乗せを行っている。

**問** 昨今、注目されている環境面に係って、合併処理浄化槽への転換を加速させてい

る負担軽減策として、維持管理費に係る助成制度を検討してはどうか。

**答** 維持管理費の問題は、全国的な課題と認識している。県内各市で支援策は行われていないが、全国の動きを注視したい。

**問** 地球環境の観点から水質汚染には徹底的に配慮していく必要があるのですが、しっかりとした取り組みをお願いする。



## 感染不安による欠席の取り扱いは

### ●欠席扱いとしない



東方 貴子 議員

**問** 通常通り2学期が開始された経緯は、新型コロナウイルス感染症がおよぼす時期を前後し、県内でも数十名と大きく増加する状況となり、2学期の学校運営について検討を行った。本市においては、夏季休業期間中も1学期と大きく変わることがなかったため、感染拡大防止対策の徹底を通知の上、家庭には健康観察等の協力をお願いの文書を配布した。小・中学校が始業した8月23日午後5時過ぎ、県教育委員会が県立学校を8月末まで夏休みを延長する決定をし、各市町村にも学校の実情に応じ適切に対応するよう記載した依頼状が送付され、再度検討を行った結果、24日以降も通常通り継続することを決定した。一方、海南下



津高校は、市内外の広範囲から通学してくる生徒が多く、25日以降8月末まで夏休みを延長した。  
2学期の始業後、通常と違いなく運営されているが、始業直後は、コロナ禍の不安から自主的に登園・登校を控える家庭もあった。  
**問** 不安等により家庭の判断で休ませた場合の取り扱いは。  
**答** 欠席扱いとはしていない。  
**問** 学習の保証は。  
**答** 要望に即してオンラインで授業を公開した学校もある。



和歌 真喜子 議員

**問** デマンドタクシーを実施する場合は、コミュニティバスのように2社と契約できないのか。  
**答** デマンド方式で運行する場合、コミュニティバスと同様にエリアを分け、契約を別にする事で複数の事業者と契約することは可能である。  
**問** 長年、市に要望されている公共交通空白地域の解消と、交通弱者の移動手段の確保を市長はどう考えているのか。  
**答** コミュニティバスの現在までの取り

## 交通空白地域を どう解決するのか

●地域公共交通協議会での協議になる

組みは、公共交通空白地の解消を目指し、できる限りの対応を取るべく検討をした。今後でもデマンド交通については、地域住民や事業者の考えを聞き、関係機関と協議をし、解決策を検討していく。  
**問** 以前から要望があり、議会からも意見が出されているにもかかわらず、交通の空白を埋める手立てが考えられていないのはあまりにも遅いのではないのか。  
**答** 地域公共交通協議会での協議となるため、メンバーのバス事業者、タクシー会社



みなベ町のデマンドタクシー

等に趣旨を伝え協議を進める。  
**問** 市が早く計画を立て、公共交通協議会に諮り実現させるよう強く要望する。



米原 耕司 議員

## 自治会(区)支援の条例制定は必須だと考えるが

●他市の条例を参考に研究していく

**問** 自治会(区)は行政との関わりが強く、地域に深く根差した活動に取り組んでいる。行政としては自治会をどのように位置づけているのか。

**答** 自治会は地域づくりの中心的な担い手であり、市と協働によるまちづくりの重要なパートナーとして認識している。

**問** 自治会は一定の地域で組織され、住民相互の親睦と連帯意識により、住みよい社会づくりを目指している。しかしその意識が情報化

社会の中で希薄化し、自治会加入率低下を引き起こす一因になっていると感じるがどうか。

**答** 引越し等で転入した世帯が加入しないのも大きな原因と考えている。

**問** 自治会への加入率の傾向は。

**答** 高い地区は95・5%、低い地区は63・1%。旧下津町エリアが高く、若い世帯やマンションの一人世帯が低い傾向にある。

**問** 自治会を支援するための条例制定が必須と考えるが。

**答** 役員のなり手不足等の課題も抱える中、自治会支援は必要と考えている。自治会活動の活性化や加入率向上のため、出来る限りの支援を行いたい。条例制定については研究していきたい。

役員



## 国保傷病手当金の支給を市の裁量で認めることができないか

●国の財政支援の範囲内で実施したい



中家 悦生 議員

**問** 国保傷病手当金の支給要件は。

**答** 国保加入者で給与の支払いを受けている方、新型コロナウイルス感染症に感染し、または感染が疑われ療養のため労務に服することができない方、新型コロナウイルス感染症などにより給与収入の全部が受けられなくなった、または給与収入の一部を受けることができずが傷病手当金の額よりも少なくなった方のいずれにも該当する方。

**問** 一般的な個人経営と異なり、特定の企業の仕事を請負い報酬を得る方は該当するのではないかと。

**答** 国の財政支援の対象者は、被用者に限定しており事業主やフリーランスの事業収入者は対象外である。

**問** 国保の制度になかった傷病手当金が、

コロナの流行により救済措置として特別につくられたということから市の裁量によって認めることができないのか。

**答** 事業収入者などに対象を広げることが制度上問題が多いとして対象外としており、市としては国の財政支援の範囲内で実施したい。



# 新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種状況は

● 65歳以上の方で約90%が接種済みである



橋爪 美恵子 議員

**問** 新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種状況は。

**答** 9月5日時点で、65歳以上の1回目の接種が90・9%、2回目が、89・8%。65歳未満の方はそれぞれ71・2%、60・5%である。県内でも早いスピードでの実施は医師会を始めとした協力が大きく、合計6回の集団接種も行うことができた。

**問** ワクチン接種の目標は定めているか。

**答** 目標は定めていないが、12歳以上の市民全員が接種できる体制を整えている。

**問** 接種可能な医療機関についてのお問い合わせは、厚生労働省のコロナワクチンナビか、市のコールセンター、または健康課に連絡を。市内のクラスター発生状況は。

**答** 本市では9月8日までに3例のクラスターが認定されている。学童保育では、濃厚接触者のみならず学童保育を利用した全児童を対象者にPCR検査を実施したと聞いている。

**問** 感染した人が職場などに復帰する場合、再感染などが不安との話を聞いた。正確な情報を提供してほしい。

**答** 国の定める就業制限に関する基準などを市ホームページの新型コロナウイルスに関する特設ページなどに掲載したい。



瀬藤 幸生 議員

## すべての施策にジェンダー平等を

● 男女平等の視点に基づき取り組む

**問** 市の第三次総合計画に取り入れられている「SDGs」目標に「ジェンダー平等を享受しよう」とある。学校での取り組みは。

**答** ジェンダー平等に関わる男女平等の問題と女性の権利は、個別の人権課題の一つとして全ての学校で取り上げ、年間指導計画に組み入れている。

平成31年度から、児童生徒名簿の記載を男女混合にしており、入学式や卒業式での名前の呼び方も、男女混合五十音順に変更している。名前の呼称について、現時点では小学校から徐々に「さん」づけへの変更が行われている。

**問** 教員配置にジェンダー平等の視点を取り入れる考えは。

**答** 働き方改革に取り組む、働きやすい職場環境の確保等を通じて、女性教員にとっても管理職昇任への意欲が向上するよう尽力したい。

**問** 第4次海南市男女共同参画基本計画の策定に向けて、ジェンダー平等の視点を取り込んだ計画は考えているか。

**答** ジェンダー平等の実現に向け、男女共同参画の視点に立った啓発活動、相談支援体制の充実を図る施策を計画に位置づけ取り組む。





岡 義明 議員

## コロナ禍における、 国保傷病手当金の拡充を

● 国の財政支援の範囲内で行うことが妥当

**問** 昨年、国民健康保険の被保険者で給与所得者に限り、コロナ感染または疑いがあり休業した場合は、傷病手当金が支給されるようになり大きく前進したと思う。

一方、事業主やフリーランスの場合は保障がない。同じ制度の中で、働き方の違いにより、不公平な取扱いとなっている。

和歌山市は、事業主などにも傷病手当金を支給できるよう対象範囲を広げ、しかも昨年の1月1日まで遡って給付することとなった。

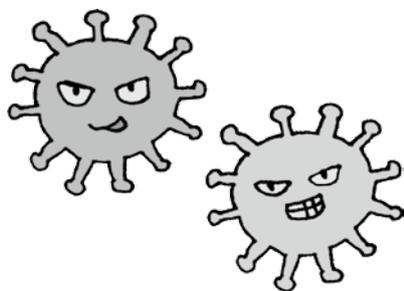
**答** 本市も、傷病手当金事業主やフリーランスなどにも広げる考えはないか。

**問** 市の判断で実施は可能であるが、国保の傷病手当金については、国の財政支援の範囲内で行うことが妥当であり、事業主などには広げない考えである。

**答** 和歌山市の予算を単純に本市に置き換えると、12万3000円であり、大きな予算ではない。感染防止の観点から市長の答弁を求める。

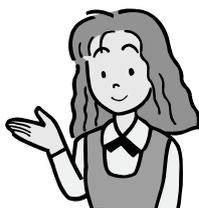
**問** 他市の事例のように、見舞金的な支

給の場合、通常の傷病手当金の生活費の補填とは性質が異なるなど課題が多い制度であり、実施は難しいと判断をしたところである。



## 市議会ホームページから 生中継がご覧いただけます

ホームページでは、市議会の日程や議案などの情報を掲載しています。また、会議録を閲覧いただけるほか、本会議の生中継や委員会の録画映像の配信（約10日後から）も行っていますので、ぜひご覧ください。



## 市議会だよりへのご意見をお聞かせください

よりよい紙面とするため、議会だよりに関する皆さま方のご意見等お寄せください。

## 11月定例会の予定

市議会の定例会は年4回開催され、**次回の11月定例会は11月25日（木）に開会する予定です。**なお、日程は変更することがありますので、傍聴を希望される場合や本会議の生中継をご覧になる場合は、お手数ですが議会事務局まで日時をお問い合わせください。

傍聴にお越しの際は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用や手指の消毒等の御協力をお願いします。また、発熱などの症状のある方は傍聴をご遠慮ください。

海南市議会事務局  
〒642-8501  
海南市南赤坂11番地

TEL/073-483-8700 FAX/073-483-8703  
Eメール/gikaij@city.kainan.lg.jp  
HP/https://www.city.kainan.lg.jp/shiseijoho/shigikai/



ホームページQRコード

## 所管事務調査

### ■建設経済委員会

9月15日、「道の駅（令和5年度に開駅予定）の整備について」調査しました。

#### 【主な質疑応答】

**問** 立地が良いとは思えないが、お客さんは来てくれるのか。

**答** 近年、道の駅を通過点ではなく目的とする方が非常に多い。海南市の道の駅は、国道とバイパスの両方が接する場所なので、目的地としての魅力があれば多くの方が来てくれると思う。

#### 問

どのような魅力ある商品を考えているのか。

**答** 地元魚や果物を使ったごはんやスイーツなどを充実させたい。また、地元のパティシエやデザイナーの方とも力を

を合わせて進めていく予定である。



### ■教育厚生委員会

9月15日、「小・中学校のトイレの使用状況について」調査しました。

#### 【主な説明内容】

小・中学校では、トイレのスリッパをきちんとそろえる取り組みを行うとともに、学校トイレに生理用品を配備しています。

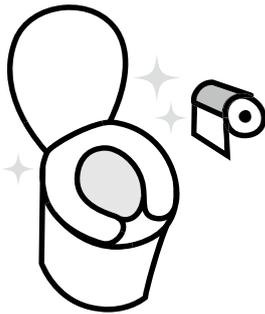
#### 【主な質疑応答】

**問** 夜間にトイレを使用する児童保育の子供たちへの配慮は。

**答** 状況を確認し、少し暗いということであれば、予算の範囲内で電灯を増設するなど、できることから取り組んでいきたい。

**問** 雨の日はトイレの湿気が多くなるが、その対策は。

**答** 教員が換気扇を回したり、壁が結露している場合は、雑巾で拭いている。子供たちにも気づいてもらうため、教員がやっていることを教えている。



## タブレット端末の導入で議会運営の効率化へ!



8月から、議会へタブレット端末を導入しました。これは県内市町村では初となります。

タブレットの導入により、本会議に提出される議案などの紙資料がペーパーレス化となるとともに、情報共有のスピード化が図られ、議会運営の効率化にもつながります。

その他、タブレットを利用した行政視察や研修などにも活用しており、オンライン会議での使用方法のほか、災害時の活用など危機管理体制の強化についても検討しています。



## 海南・海草議会議員連絡協議会が発足40周年

昭和56年に「広域的な施策の連携により、地域の発展と住民福祉の増進」を目的に設置された本協議会が今年で40周年を迎えました。

様々な課題に取り組む中、とりわけ市町をまたぐ道路の整備や改修について力を結集し陳情活動を行い、本市においては阪井バイパス開通や城山トンネル拡幅などがされました。近年は、道路行政にとどまらず、病院事業の問題などについて調査や研究を行っており、今後も近隣自治体と連携を図り、海南・海草地域の発展のため頑張っていきます。



8月30日、海南保健福祉センターにて総会を開催(写真左)、総会終了後には、伊関友伸城西大学経営学部教授に「自治体病院について」貴重なご講演をいただきました(写真右)。

## 海南アスリートクラブ2選手が表敬訪問

7月20日、川崎議長と東方副議長が、海南アスリートクラブ所属の南出悠人選手(加茂川小6)、愛宕花梨選手(巽小6)の表敬訪問を受け、日頃の成果を十分発揮してくださいと激励しました。両選手は9月19日に横浜市の日産スタジアムで開催された第37回全国小学生陸上競技交流全国大会に出場しました。



議 会 広 報 委 員 会  
 委 員 長 川 崎 友 伸  
 副 委 員 長 東 方 隆 夫  
 委 員 和 橋 宮 米 森 川  
 歌 爪 本 原 下 口  
 真 美 憲 耕 貴 政  
 喜 子 子 治 司 史 夫



10月17日、お菓子の歌完成発表会が海南nobinosで行われました。

歌の発表のほか、紙芝居や海ニャンじゃんけん大会もあり、子供たちも笑顔いっぱいでした。